

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	元気を生み出す地域づくり事業	
事業主体 (連絡先)	開田高原倶楽部 (長野県木曾郡木曾町開田高原末川 1266)	
事業区分	(8) その他 地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	432,070 円 (うち支援金 :	324,000 円)

事業内容

・野菜・特産品販売促進及び観光誘客事業

高原野菜やかいだそばなど特産品のPRと販売促進及びそば祭りなど秋のイベントによる観光誘客をめざし10月3日～4日、大阪と名古屋でマスコミを訪問しチラシや観光パンフレット、かいだそばなどを配ってPRを行った。

・沿道景観整備事業 8月にアダプトシステムの協定を締結し、国道361号沿いの草刈り等を実施。また、開田高原景観ウォッチングを行い報告書を作成。2月16日に報告会と講演会を実施した。



【県事務所前で特産品をPR】

【目標・ねらい】

- ①中京関西方面へマスコミを通じて特産品や観光PRを行い、地場産品の販売力を高め、観光客の増加につなげる。
- ②景観の現状を見つめ、専門家の意見を参考にして報告書を作成し行政に示すことで美しい景観づくりに一層磨きをかける。

※自己評価 【 A 】

【理由】 そば祭りの来場者も増え、年末のそばの売上も伸びた。また、名古屋での特産品フェア開催にもつながった。景観については、町や県など行政に対し具体的に政策提言することができた。

事業効果

- (1) 野菜・特産品販売促進及び観光誘客事業では、中日新聞に記事が掲載されたほか大阪のラジオ(FMいたみ)でも放送された。4年ぶりにそば食い競争が復活した10月のそば祭りもPR効果があり入り込みが2割増につながった。また、年末のそばの小包発送件数も昨年を上回り1127件に達した。
- (2) 沿道景観整備事業では、国道361号を学生らと一緒に美化活動を実施し、沿道の美しい景観につながった。また、景観ウォッチング報告会や講演会を通じ町や県などに対し美しい景観づくりの取り組みの重要性を訴えることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

特産品販売や観光PRなどは息の長い継続的な取り組みが必要。これからも工夫を重ねながら取り組んでいきたい。その中で、出掛けていってPRするだけでなく、逆にこちらへ来ていただくような取り組みなども今後考えていきたい。

また、美しい景観づくりについては、地域の魅力を高め移住者を呼び込むという観点からも、これからも引き続き景観ウォッチングや専門家を呼んでの講演会、先進地視察などを通じて町や県などにも呼びかけ、さらに美しい景観づくりに磨きをかけていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある